

第11節 水産業における環境対策

1 漁場保全対策

(1) 桜島軽石等除去事業

桜島の長期にわたる火山活動により生成・堆積した軽石が、大雨等により周辺海域に流出し、漁船の航行や魚類養殖の給餌作業などに影響を与えているため、その回収・除去作業を支援し、漁場環境の保全を図っています。

(2) 水産多面的機能発揮対策推進事業

水産資源の保護・育成に重要な役割を担い、水質浄化などの公益的機能を果たす社会の共通資源である藻場・干潟の機能の維持・回復など、漁業者等が行う活動に対し支援するとともに、助言・指導を行っています。

(3) 赤潮対策調査

赤潮の発生する恐れのある時期に海域の環境調査や赤潮発生の予察を行うとともに、赤潮発生時の情報提供や指導等により、漁業被害の未然防止に努めています。

平成28年度は、別表のとおり16件の赤潮が発生し、漁業被害が1件発生しました。

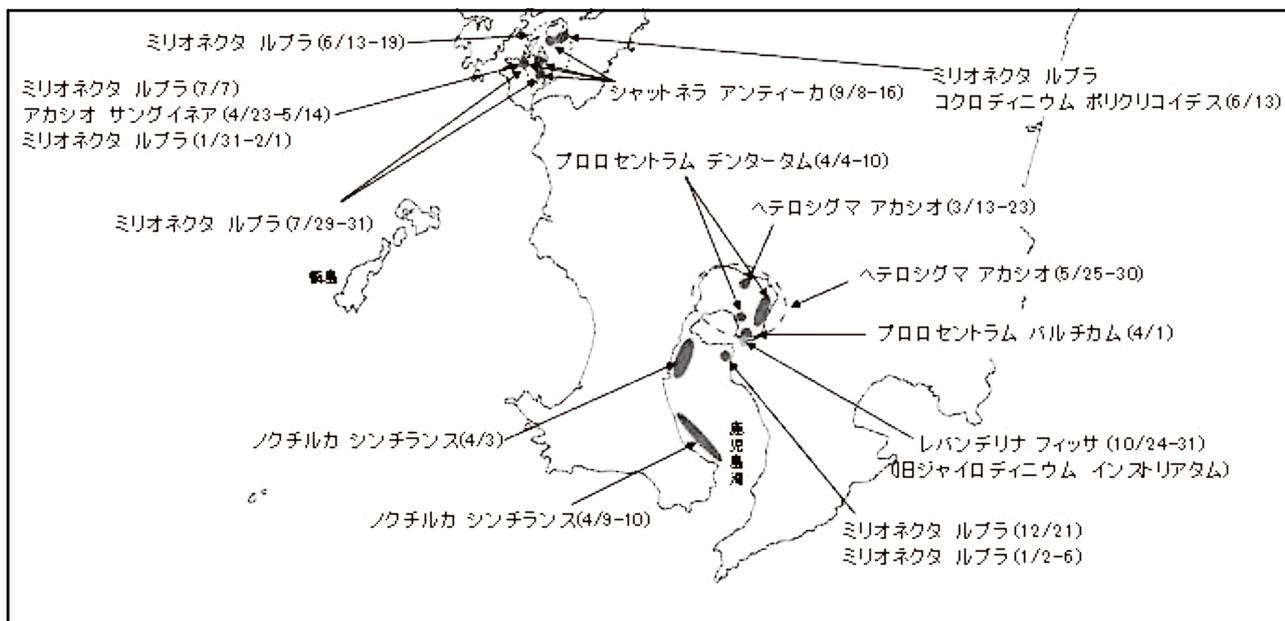
(表3-105, 図3-46)

表3-105 鹿児島県における赤潮発生状況(平成28年度)

No.	発生期間	発生海域	赤潮構成プランクトン 種名	細胞密度 (cells/mL)	漁業被害 有無
1	4月1日	垂水市牛根麓地先	プロロセントラム バルチカム	2,700	なし
2	4月3日	鹿児島市鹿児島港マリナー ート付近～谷山港七ツ島付 近	ノクチルカ シンチランス	不明	なし
3	4月4日～10日	垂水市福山～牛根境地先及 び桜島黒神沿岸	プロロセントラム デンタータム	106,500	なし
4	4月9日～10日	鹿児島市喜入港沖～指宿市 知林ヶ島北端	ノクチルカ シンチランス	不明	なし
5	4月23日～ 5月14日	長島町福ノ浦	アカシオ サングイネア	7,200	なし
6	5月25日～30日	鹿児島湾湾奥部	ヘテロシグマ アカシオ	486,000	なし
7	6月13日	長島町獅子島湯ノ口～柏栗地 先	ミリオネクタ ルブラ コクロディニウム ポリクリコイ デス	1,500 340	なし
8	6月13日～19日	長島町北部地先	ミリオネクタ ルブラ	27,000	なし
9	7月7日	長島町福ノ浦	ミリオネクタ ルブラ	8,500	なし
10	7月29日～31日	長島町福ノ浦, 松ヶ平沖	ミリオネクタ ルブラ	5,050	なし
11	9月8日～16日	長島町地先	シャットネラ アンティーカ	2,000	あり

12	10月24日～ 31日	垂水市牛根麓漁港内	レバンデリナ フィッサ (旧ジャイロディニウム インストリアタム)	790	なし
13	12月21日	垂水市海潟漁港港内	ミリオネクタ ルブラ	不明	なし
14	1月2日～6日	長島町浦底湾	ミリオネクタ ルブラ	3,500	なし
15	1月31日～ 2月1日	垂水市海潟漁港沖	ミリオネクタ ルブラ	5,000	なし
16	3月13日～23日	霧島市隼人町沖	ヘテロシグマ アカシオ	1,100	なし

図3-46 鹿児島県海域における赤潮発生状況（平成28年度）



(4) 適正養殖指導

魚類養殖業は、限られた漁場において集約的に営まれるため、水質や底質など漁場環境の保全に万全を期すことが必要です。

県では、昭和53年に定めた魚類養殖指導指針により、漁協等に対し漁場ごとに水質・底質の調査を行い、その結果を報告することを義務付けています。また、毎年、県内各漁場ごとの生簀台数や養殖魚種、放養量等を把握したうえで適正養殖の指導を行うとともに、持続的に魚類養殖を行うため、持続的養殖生産確保法に基づき魚類養殖場を有する全ての漁協の漁場改善計画を認定しました。この計画に基づき、環境への負荷の少ない餌料への転換などについても指導を行っています。

(5) 魚類へい死事故原因調査

県内の河川及び河口域で魚類のへい死事故等が発生した場合、市町村等からの依頼に応じて水産技術開発センターで魚病の面からの原因究明に努めています。

平成28年度は依頼はありませんでした。